

## 今後の活動に向けて

地域共創センターは、本学の地域貢献を担う中心的な組織であり、「地域調査研究部門」「地域教育活動部門」「アーカイブ部門」の3部門で構成されています。

同センターでは、下関地域だけでなく、近隣自治体や北九州市との連携にも力を注いでいます。地域連携は、国が掲げる施策の一つでもあります。また、産官学連携にも取り組んでいます。これらの連携は、本学や下関市や企業という単体の組織では、地域問題を解決することができないことが増えているという社会背景があります。

特に地域における課題解決型の対応として、学生や地域住民とともに課題発見し地域のステークホルダーを巻き込みながら教育と実践を行っています。

これからも地域の方々と共に地域を作っていけるようよろしくお願いいたします。

地域共創センター 副センター長 難波 利光

### Information 地域調査研究部門

#### 1. 地域共創研究

■本学教員から企画を募集し、テーマなどを審査して採択しています。その成果は成果報告会で公開されるとともに、定期刊行物『地域共創センター年報』に論文として掲載され、また山口県大学共同リポジトリ『維新』にてWeb公開されます。

#### 2. 関門地域共同研究

■北九州市立大学との共同研究です。行政区間を超えた「関門一体」を研究対象にする、というユニークな共同研究です。両市と双方の市立大学の思惑が一致してこの研究会の結成となりました。必要に応じて地元や近隣から委嘱研究員を招聘しています。毎年度、その成果を年刊『関門地域研究』として公刊するとともに、成果報告会を開催しています。

#### 3. 国際共同研究

■旧産業文化研究所時代には、本学と青島大学にて学術共同研究を実施していました。現在では海外提携校との共同研究の進め方を検討しています。

#### 4. 自主調査研究

■センター発足にあたり、調査研究部門のスタッフは地域調査研究のコーディネーター集団に衣替えしました。コーディネーターが企画し、調査研究プロジェクトを提案します。調査研究スタッフを編成して、調査研究プロジェクトの進行を補佐します。

#### 5. 受託調査研究

■地域課題について調査研究の依頼があれば、コーディネーター集団が始動します。また、プロジェクト化の可能性を図り、対応いたします。

#### 6. 自主資料収集

■さまざまな発行物や下関市内商工会文書等の資料収集を進めています。

### Information 地域教育活動部門

2020年度開講予定の講座です。企画が出来次第、ご案内します。

#### 市民大学

- 公開講座
- 開放授業
- 出前講座

スケジュールの詳細は決定次第ホームページでお知らせします。

### Information アーカイブ部門

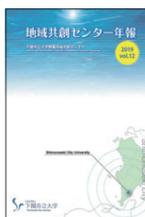
地元下関の産業、文化、歴史などに関する史資料の収集、保管、公開をすることで地域貢献をしています。特徴的なのは下関を代表する水産資源である、鯨やぶぐの資料を集めた鯨資料室ふく資料室を設置していることです。事業者や個人から寄贈していただいた貴重な資料や購入した関連書籍を公開したり、かつて捕鯨に携わった方から聞き取り調査を行いそれを映像化するなど、時の流れとともに散逸していく資料を収集し、地元の方にも余り知られていない情報を留め、後世に残していくこと。それがアーカイブ部門の目的です。今後も様々な情報をシンポジウムや広報誌などで発信していきながら、地域に貢献していきます。



鯨のくーちゃんが、資料室の資料等を紹介する「くーちゃんの部屋」をWebで公開しています。以下のURLからご覧いただけます。

[https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/chiiikyoso/archive\\_kuchan.html](https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/chiiikyoso/archive_kuchan.html)

#### 出版物のご案内



地域共創センター年報 Vol.12



関門地域研究 Vol.28



地域共創センターニュースレター Vol.11



資料室だより Vol.8

#### スタッフ紹介

##### □地域調査研究部門 研究員

難波 利光 部門長  
佐藤 隆  
佐藤 裕哉  
嶋田 崇治  
福本 純子

##### □地域教育活動部門 コーディネーター

土屋 敏夫 部門長  
川野 祐二  
重田 美咲  
三科 仁伸  
福本 純子

##### □アーカイブ部門 研究員

松本 貴文 部門長  
福本 純子

## 地域共創センター ニュースレター

発行◆2020年3月31日 発行◆下関市立大学附属地域共創センター(本館Ⅱ棟2階)  
〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1-1 MAIL◆[chiiikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp](mailto:chiiikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp)  
TEL◆083-254-8613 FAX◆083-253-1622 URL◆<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp>

# 地域共創センターニュースレター

2020  
Vol.12

下関市立大学附属地域共創センターは、大学人(法人職員と学生)と地域の方々との協働で地域資産を掘り起こし、地域課題を見出して、その課題解決に取り組むことを目指します。

#### あいさつ

昨今、地域経済の活性化や地方創生がテーマとなっているなか、地域社会に打撃を与える出来事が自然災害(地震による家屋の倒壊、台風にもなう浸水・停電等)により、もたらされています。とりわけ、昨年(2019年)は、「地域社会の連携」が問われた1年でした。というのも、自然災害は一地域だけの問題ではなく広域にまたがっていることが多く、したがって、それに対する備えや対策も当然のことながら地域間を横断するものが必要となってくるからです。

さて、本学が所在する下関市においては、隣の北九州市や山陽小野田市や宇部市といった近隣地域との連携はどうでしょうか。もちろん、前述の防災面での連携だけではありません。今後はよりいっそう、人的交流に始まり、地域経済、地域行政、地域文化、地域情報、地域医療・福祉等のあらゆる分野やカテゴリーにおいて、広域連携が重要になってくるでしょう。そこで、本学附属地域共創センターにおいては、専門部署として「地域連携」や「地域が抱える課題」に果敢にチャレンジし、広域連携に取り組むことが求められています。

下関市立大学附属地域共創センター  
センター長 柳 純

●市民大学公開講座

《財務分析の基本》(全1回 水曜日)  
日 時：2019年5月29日 18:30～20:00  
講 師：足立 俊輔 准教授



《情報セキュリティに関する基礎知識》(全1回 木曜日)  
日 時：2019年6月13日 18:30～20:00  
講 師：松本 義之 教授



《流通に関する基礎知識》(全1回 水曜日)  
日 時：2019年7月10日 18:30～20:00  
講 師：森 幸弘 教授



《初めての古文書》(全4回 木曜日)  
日 時：2019年10月17,31日、11月14日、12月5日  
18:30～20:00  
講 師：三科 仁伸 講師



●開放授業

《教養総合A》(全15回 火曜日)  
日 時：2019年10月1日～2020年1月28日  
13:10～14:40  
講 師：菅 正史 准教授 他

《基礎演習(異文化理解)》(全1回 木曜日)  
(留学生による日本語スピーチコンテスト)  
日 時：2019年11月7日 9:00～13:00  
講 師：重田 美咲 准教授 他



●下関市生涯学習まちづくり出前講座

《感性工学による商品開発》  
日 時：2019年7月4日(木) 13:30～15:00  
場 所：勝山公民館  
講 師：土屋 敏夫 教授



《経営情報システム》  
日 時：2019年8月8日(木) 14:30～16:00  
場 所：勝山公民館  
講 師：松本 義之 教授

《ワーク・モチベーション》  
日 時：2019年11月1日(金) 10:30～12:00  
場 所：有限会社エヌ・アルファ  
講 師：村田 和博 教授



●2019年度 地域共創研究報告会

日 時：2019年6月6日(木) 18:30～19:30  
場 所：下関市立大学 本館2階 I-206教室  
報告者：「酒蔵を核としたまちづくりと観光の可能性」  
難波 利光 教授  
共同研究者：三科 仁伸 講師



●関門地域共同研究会 成果報告会

日 時：2019年7月25日(木) 14:00～16:30  
場 所：西日本総合展示場新館3階 314・315会議室



第1部 2018年度研究報告  
報告者：1. 高齢労働者による地域支援活動への意識に関する研究  
—山口県の事例をもとに—  
難波 利光(下関市立大学経済学部 教授)  
坂本 毅啓(北九州市立大学 基礎教育センター 准教授)  
2. 日本遺産「関門」ノスタルジック「海峡」認定後2年間の現状分析  
南 博 (北九州市立大学 地域戦略研究所 教授)

第2部 シンポジウム  
「関門地域における“文化財を活かした地域活性化”の可能性」  
パネリスト：黒木 俊彦(JR九州ステーションホテル小倉株  
代表取締役社長)  
藤本 有紀(下関市教育委員会 教育部文化財保護課 主任)  
泊 圭子(北九州市産業経済局  
地域・観光産業振興部観光課 係長)  
福田 悠美(下関市立大学 経済学部国際商学科 4年)  
南 祐輔(北九州市立大学 地域創生学群地域創生学類 4年)  
コーディネータ：南 博 (北九州市立大学 地域戦略研究所 教授)



●地域インターンシップ関連

《下関市豊田町での援農活動(水稲の種まき)》  
日 付：2019年5月11日(土)  
場 所：豊田町みよりの丘周辺  
参加者：松本 貴文 准教授 福本 純子 特任教員 学生



《下関市豊田町での援農活動(餅つき(キッズスクールの支援))》  
日 付：2019年10月19日(土)  
場 所：空路子清流館  
参加者：松本 貴文 准教授 福本 純子 特任教員 学生



※2019年度は計5回地域インターンシップを計画していましたが、  
天候不良などが重なり、内3回が中止となりました。直前まで開催に向け、  
ご尽力いただきました関係者の皆様ありがとうございました。

☆第1回☆ 日 時：2019年11月20日(水) 18:10～19:40  
場 所：下関市立大学 本館3階 II-301教室  
報告1：「市場と環境の調和へ向けて  
—自然資本の経済評価—」  
講 師：奥山 忠裕 教授



報告2：「ハプスブルク帝国における民族問題と商工会議所」  
講 師：長濱 幸一 准教授

☆第2回☆ 日 時：2019年12月18日(水) 18:10～19:40  
場 所：下関市立大学 本館3階 II-301教室  
報告1：「読者を「閉じ込める」小説  
—Tim O'Brienの The Things They Carried を例に—」  
講 師：田吹 香子 准教授  
報告2：「農村における小水力発電の持続可能性  
—広島県の農村小水力発電を事例として—」  
講 師：福本 純子 特任教員



●下関くじらサマースクール

日 時：2019年7月27日(土) 14:00～15:30  
場 所：下関市立大学 本館2階 I-206教室 ほか  
参加者：市内在住の小学生及び保護者



内 容：講演1. 「くじらってどんな生き物？」  
石川 創(下関鯨類研究室室長)  
講演2. 「下関とくじらの歴史」  
岸本 充弘  
(下関市立大学附属地域共創センター委嘱研究員)  
資料室等見学

●鯨資料室聞き取り調査収録

日 時：2020年1月31日(金)  
10:00～11:00、14:00～15:00  
場 所：「有吉鯨肉店」、「下関くじら館」  
対象者：有吉 治洋(有吉鯨肉店 2代目店主)  
小島 純子(下関くじら館 店長)  
聞き取り者：岸本 充弘  
(下関市立大学附属地域共創センター委嘱研究員)



●鯨資料寄贈

鳥居 邦裕 寄贈  
寄贈日：2019年7月29日(月)  
寄贈品：「海上気象学 訂正版」、メモ、カンテラ

細田 徹 寄贈  
寄贈日：2019年9月30日(月)  
寄贈品：「日新丸進水式(昭和26年)写真」「日新丸竣工記念冊子」  
「日新丸捕鯨船隊行進曲(レコード)」雑誌、書籍等



●下関地域鯨油高度化利用産官学連携推進協議会

第1回推進協議会  
日 時：2019年8月9日(金) 14:00～15:00  
場 所：下関市立大学 本館5階 中会議室  
出席者：11名(オブザーバー含)



第2回推進協議会  
日 時：2019年12月20日(金) 14:00～15:30  
場 所：下関市立大学 本館5階 大会議室  
出席者：18名(オブザーバー含)

第3回推進協議会  
日 時：2020年2月21日(金) 10:30～12:00  
場 所：下関市立大学 本館5階 中会議室  
出席者：21名(オブザーバー含)

